

指定障害者支援施設

さやま園  だより

GOOD DAY SUNSHINE PROJECT!

カミニア





荒井園長 編

## 感謝!!

2018年平昌オリンピック・パラリンピックが閉幕いたしました。オリンピックではこれまでにないメダル数の獲得、パラリンピックでは史上3番目のメダル数の獲得となり、大いに盛り上がりを見せました。高木菜那選手は、団体パシュートと初めての種目となったマススタートで金メダル2個を獲得し歴史上の快挙となりました。またフィギュアスケートでは羽生結弦選手が66年ぶりの連覇、女子カーリングでも「だよね～」と楽しみながら笑顔で掴み取った銅メダル、村岡桃佳選手の金1・銀2・銅2の快挙など、とてもワクワク・ドキドキする大会でした。

今回の大会で個人的に特に印象に残ったのは、メダルを獲得した選手も惜しくもメダルに手が届かなかった選手も、インタビューでは皆一同に仲間やライバル、家族など、自分自身の努力ではなく自分を支え応援してくれたすべての方への感謝の言葉でした。

「このチームだからこそ、このチームで優勝したかった」「私はまだあなたのことを尊敬しているよ」「みんなで金を取ると切り替えて臨んだ。取ることができてうれしく思うし、国民の皆様と喜びを分かち合えたことをうれしく思う」「私たちだけでなく、先輩たちがつないでくれたもの」「今まで支えてくれた人や応援してくれた人がいて、それが力になって最後まで滑り抜くことができた」。

4年に一度のオリンピック・パラリンピックで、メダリストになるということは並大抵なことではないと思います。しかし、メダルを取れば勝者で取れなければ敗者、競い合うということであればそうなのかもしれません、ここまで努力を積み重ねあの大きな舞台に立った選手すべての方が勝者として称えたい。そう思わせてくれたのは、人への感謝を決して忘れない選手の言葉でした。私たちは障害のある方への支援を仕事としています。私たちが遣り甲斐や生き甲斐をもってこの仕事が出来ていることも自分自身の努力だけではなく、利用者はもちろんのこと、一緒に働いている仲間がいてのことだと思います。

この仕事をしていて、誰もができること、そして一番大事にしなければいけないことは、笑顔・元気・明るく・楽しくだと思っています。知識やスキルは自身の努力によって後からついてきます。カーリング女子のように常に「だよね～」と意見を交わし、自己研鑽を重ね、周囲への「感謝」を常に抱き、それを言葉として相手に伝え、利用者が楽しく笑顔で安心した生活が送れるよう支援力を高めていきたいと思います。

園長 荒井隆夫

## クラブ活動「多摩動物公園」報告

2月18日のクラブ活動で多摩動物公園に行ってきました。

以前の職場でハイキングに出かけた記憶を思い出した。

Nさんという利用者がおり、Nさんは動物に一切興味をもたず、つまらなそうな様子であった。

私は「せっかく来たのだから一つくらい動物の名前を憶えよう。あとで質問するね。」とNさんに提案する。

丁度ワシがいる檻の所だったので、「いろいろなワシがいるね。」「オオワシにハクトウワシ、イヌワシ、他にもいるよ。」

ワシの檻を離れたところで、Nさんに「ここで問題!ワシを見ましたが、どんなワシがいたでしょう?」

(Nさん)「・・・」

すると、そのやり取りを見ていたKさんが「Nさんわからないの?いっぱいいたでしょ」「キリンのアシでしょ、ゾウのアシでしょ・・・」

(皆)「??？」

(私)「それはワシじゃなくてアシ(足)やろー！」

(Kさん)「そうかー」

(皆)「大爆笑」

そんなエピソードがありました。

今回は、そこまでのエピソードはありませんでしたが、今回もワシの所に行くと、利用者の一人が、「ハトだ」と言った。「違うよ。ワシだよ」そういえばさっきもカラス見た時に「ハトだ」って言っていたなー。

その利用者はさやま園で最高齢(74歳)の方です。動物園内の上り下りの道を先頭切って歩いていました。帰りの車中も皆疲れて静かにしている中、その利用者は「♪あーかいーリンゴにくちびるよせてー」と元気に歌っていました。スゴイ!! いつまでも元気でいて下さいね。

あっ! そういえばキリンの赤ちゃんを見ました。生後2か月の。もう身長は2メートルですって。何せ生まれた時に170センチあるっていうし。まったく赤ちゃん感はありませんでしたが、無邪気に走り回っていました。

<これから多摩動物公園に行こうと思われている方へ>

現在、園内は所々工事中です。あと、休日に行こうと思われている方、食べる場所が少ないのでお弁当持参がお勧めです。



ぞうさん弁当



顔出しパネルコレクション(昆虫編)



### つぶやき

動物園に行ったはずなのに、渡された写真には動物の姿がほとんどありませんでした。

唯一あったコアラの写真もピントが… やはりみんなの興味は、食べ物なのか? 多摩動物公園の名物ランチ? 「ぞうさん弁当」の写真はキレイに撮れています。そしてなぜか昆虫の顔出しパネルは大人気? みんなの写真がたくさんありました。by 編集委員



## ボーダレスプロジェクト第2弾 『親子でつくるシルクスクリーンのワークショップ』

今回は、エコバッグにシルクスクリーンでプリントし、オリジナルバッグを作りました。

『地域に開かれたさやま園』を掲げ、一昨年から開催しているボーダレスプロジェクト。様々なワークショップを企画し、さやま園の利用者さんと地域の方の交流の場を作ろうという試みです。

そのボーダレスプロジェクトの第2弾として、シルクスクリーン作家・デザイナーとしてご活躍のやまさき薫さんを講師にお迎えし、1月20日(土)当園の陶芸室でシルクスクリーンのワークショップを行いました。

今回は、小学生低学年以下の子どもさんと親御さんを対象に参加者を募り、4組の親子の方が利用者さんと一緒にワークショップを体験されました。

園内参加者の中には高齢の利用者さんもあり、彼女たちにとっては、孫のような年齢のお子さん達とのワークショップ。お子さんの手を握り、微笑みの絶えない方もいらっしゃいました。

いつもは利用者さんが陶芸をしている空間に、こうして一般の方がいらして、みんな一緒に大人も子どもも置かれている立場も関係なく、バッグ作りに打ち込んでいる光景は、見ていて心地よいものでした。

私たちが園外に出て地域の人たちと触れ合うように、地域の方々にももっと気軽に立ち寄っていただける関係性を、こういう企画を通して築いていけたらと思っています。

さて、次回はどんなワークショップを企画しようかしら……



シルクスクリーンとは？

孔(穴)版画の技法の一種。

スクリーン(細かいメッシュが張られた枠)にインクが通過する穴とインクが通過しないところを作り(製版)、  
それをゴムヘラでインクを押し出して印刷する技法です。

今後、デザイン事務所勤務を経て、現在フリーランスで紙媒体の

ワークショップを行いました。

家として活動中



ヤマコヤ

## やまさき薫さんのワークショップ

制作の行程はいたって簡単!

好きなシールやテープをエコバッグに貼って・貼って・また貼って  
その上に版をのせてプリントします。赤・青・緑・茶色の柄がエコバッグに現れます。  
そして貼ったシールを剥がすと、世界に一つのオリジナルバッグの完成です！

**step**

1



プリントする柄を選ぶ。  
柄は木・花・鳥・カップの4柄。

**step**

2



プリントするエコバッグの中に、選んだ柄のコピーを  
セットし、それをガイドに、好きなシールやテープを貼つ  
てオリジナルの模様をつける。

**step**

3



いよいよシルクスクリーンでプリント。コピーと同じ柄  
の版をエコバッグにのせ、スキージーというゴムヘラ  
でインクを引いていきます。

**step**

4



版をあげるとプリント柄が現れます。

**step**

5



ドライヤーでインク乾かし、貼ったシールを剥がすと、  
オリジナルバッグの完成です。



やまさき薫さん プロフィール

シルクスクリーン版画作家  
イラストレーター・デザイナー





## わかば大宴会！！

年末の忘年会ではなく年度末の忘年会をしました！

わかばグループの利用者勢ぞろいでお店の一角を貸切に。飲み物や食べ物など沢山食べることが出来ました。大宴会という事で少し食べすぎてしまった利用者の方も・・・

大宴会の最後は今年度に頑張った事や来年度の抱負を一人一人発表！勿論職員も発表しました。「おいしい物を食べたい」「沢山外出したい」「大阪に行きたい」「調理実習」などユニークなものまで。わかばグループにも新しい利用者が増えてきたので、より一層団結して盛り上げていきたいですね。

今年度は数人のグループでの外食が多かったので、来年度は全員で行う外食や調理実習を増やしていきたいです。『大バーベキュー大会』!!





## さやま園に水族館がきた！

利用者の方々の声を改めて聴くために権利擁護委員会が定期的に開催する「みんなの会」。司会者も参加者もさやま園の利用者。そこでは様々な意見が飛び交います。ある日のテーマは『さやま園に○○があつたらいいな』。「動物を飼いたい！」「猫とか犬とか魚とかライオンとか！！」なんて声があがり、盛り上がりを見せました。しかし、毎日誰が世話をや散歩をするのだろう？思いつきで命を預かってよいのかな？ライオンは飼えないなあ。でも動物と触れ合ったりできるのってなんだかいいな。利用者の声を実現できないかと職員も一緒になって考える。

そうして1月25日、1日限定でさやま園が水族館になりました！と言うとおこがましいですね。葛西臨海水族館が行なっている移動水族館がさやま園に来てくださいました。近隣の保育園からもお子さんたちがお魚をみたり、触ったりしに遊びにきてくれました。1番人気はふれあいコーナー。見るのも初めてのお魚たちにはもちろん触るのも初めて。Oさんは恐る恐る手を伸ばし、ちょっと指で触ってみる。一度触ったらもう大丈夫。もいちど触ってみる。あれ、不思議。こわがっていた顔がみるみる笑顔になっている。興味を持つ事、そして触れてみること。そうすることで初めてわかることがたくさんありますね。普段見ることのない色とりどりの魚たちを観察したり、ふれあうことができ大盛況でした！

次はどんな意見が出て、どんな楽しいことができるでしょうか。利用者の方々の意見を形にしていくこと、大切にしたいものです。



# GALLERY

多摩六都フェア 第12回 ぴゅああーと展 入選作品



「ハンドバッグ」大野和子さん



「大切ななかまと夢の国へ」  
成島由紀子さん



「灯のむこうに」中村幸子さん



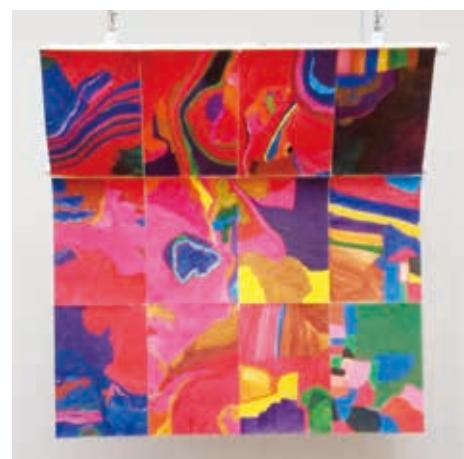
「お父さんへの花」高木基代乃さん



「わたし」坂東和子さん



「猫ちゃん」高橋伸江さん



「スパイダーマン」鬼頭和則さん

## お知らせ

毎月、下記の場所で、みつぼしグループが手作りした、クッキー・ブラウニーなどを販売しています。是非お立ち寄りください。

\*東村山市子育て総合支援センター「こころの森」

場所：東村山市社会福祉協議会 2F

日時：毎月第1水曜日 13:30~14:30

\*東村山市社会福祉協議会

場所：東村山市社会福祉協議会 1F

日時：毎月第3火曜日

\*サロン・すまいる

場所：東村山市富士見町 第3万寿園

日時：毎月第4木曜日 14時～16時

## 行事

《報告》

1月：新年会・成人式

2月：豆まき

シルクスクリーンのワークショップ

3月：春のつどい

葛西臨海水族館移動水族館来園

《予定》

4月：お花見

5月：運動会

## 編集後記

早くも桜の季節です。平成29年度広報委員会メンバーで発行するカルミア全4号を無事発行することが出来ました。たくさんの行事、日常の業務の多忙の中、原稿を書き下さった職員や関係者の方々に感謝します。今後もさやま園の今、利用者の笑顔、社会福祉の希望を発信してゆきたいと思います。

発行元：指定障害者支援施設 さやま園

発行責任者：荒井隆夫

住所：〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-7-13

TEL: 042-391-3275 • FAX: 042-391-3276

さやま園のホームページ

<http://www.sayamaen.com>

ブログ

<http://temae2016.jugem.jp/>

